



オーストラリア 2024年度 看護研修

2025年3月17日(月) 3月26日(水)



2025 年 3 月 17 日(月)発 春休み大学合同企画 オーストラリア学生看護研修

(案) アトラス旅行

	月日 (曜)	都 市 名	発着	交通機関	時 刻	日 程	宿泊・食事 (朝・昼・夕)
1	3/17 (月)	成 田 空 港 関西国際空港	発 発	JQ-10 JQ-24	21:00 21:00	成田空港よりプリズペーン空港へ 関西国際空港よりプリズペーン空港へ	機 内 泊 (一 機)
2	3/18 (火)	ブ リ ス ペ ー ン ゴールドコースト	着	JQ-10 JQ-24 専用車 Host family "	06:35 06:40 午 前 午 後 夕	成田空港よりプリズペーン空港に到着 関西国際空港よりプリズペーン空港に到着 着後、専用車でゴールドコーストへ移動 バスの中でオリエンテーション グリフィス大学着後、ホストファミリーと面会。 ホストファミリーの自家用車に乗って、各ホーム ステイ先へ移動 大学までの行き方を学ぶ	ホームステイ (機 一 機)
3	3/19 (水)	ゴールドコースト		各自公共交通 "	朝 午 前 午 後 夕	大学キャンパスへ グリフィス大学の学生によるキャンパスツアー グリフィス大学の学生さんがキャンパスを案内 します。 グリフィス大学の学生との交流 様々な学部から参加してくれる学生さんと交流 帰宅	ホームステイ (機 一 機)
4	3/20 (木)	ゴールドコースト		各自公共交通 "	朝 午 前 午 後 夕	大学キャンパスへ 講義：グリフィス大学教員のセミナー *グリフィス大学看護学部 of Nursing Program と Education についての概要 (通訳付き) 高齢者ケア、遠隔地における看護、原住民族アボ リジニーを含む多文化社会での医療システムにつ いて学ぶ (通訳付き) 視察 Group1「Gold Coast Private Hospital」 視察 Group 2「Gold Coast Primary Clinic」 Gourp 2: 現地で活躍する看護師さんとの交流会 帰宅	ホームステイ (機 一 機)
5	3/21 (金)	ゴールドコースト		各自公共交通 専用バス "	朝 午 前 午 後 夕	大学キャンパスへ Logan Campus へバスで移動 Griffith University Logan Campus Nursing Lab 視察 (通訳付き) 現地病院などで働く看護師によるセミナー *オーストラリアの医療看護事情とアボリジニー など多民族社会での看護について Gold Coast Campus へ移動 帰宅	ホームステイ (機 一 機)
6	3/22 (土)	ゴールドコースト		各自公共交通 専用車 "	朝 午 前 午 後 夕	エクスカーション 「Currumbin Wildlife Sanctuary」動物園へ *コアラやカンガルーなど間近に触れ合おう サーファーズパラダイスビーチへ 帰宅	ホームステイ (機 一 機)
7	3/23 (日)	ゴールドコースト			終 日	終日フリータイム *友人やホストファミリーや友達とお過ごし ください	ホームステイ (機 一 機)
8	3/24 (月)	ゴールドコースト		各自公共交通 "	朝 午 前 午 後 夕	大学キャンパスへ 大学病院や Primary Clinic に勤務する看護師によ るセミナー *私立と公立病院についての違いなど体験談を 交えたセミナー 視察 Group 1「Gold Coast Primary Clinic」 Group 2「Gold Coast Private Hospital」 Group1: 現地で活躍する看護師さんとの交流会 帰宅	ホームステイ (機 一 機)
9	3/25 (火)	ゴールドコースト		各自公共交通	終 日	フリータイム 帰宅	ホームステイ (機 一 機)
10	3/26 (水)	ゴールドコースト プリズペーン " 成 田 空 港 関西国際空港	発 発 " 着 着	専用車 JQ-09 JQ-23 JQ-09 JQ-23	早 朝 10:25 11:00 18:30 19:00	グリフィス大学キャンパス集合 貸し切りバスでプリズペーン空港へ 成田空港へ向けて出発 関西国際空港へ向けて出発 成田空港着後、解散 関西国際空港着後、解散	(機 機 一)

★急患・コロナ感染など施設の事情により、やむを得ず現場訪問が現地セミナーに変更になったり、代替の施設に変更になることもあります。



ゴールドコースト

サーファーズの世界大会で有名なオーストラリアでも有数の観光地のひとつでありながらも、ゴールドコーストには年中温暖な気候と美しい自然が保たれています



グリフィス大学看護学部

グリフィス大学はプリズペーンとゴールドコーストにキャンパスを持つ公立大学です。看護学部はクィーンズランド州ではトップレベルを誇っています。



Walk In Specialist Emergency Clinic

オーストラリアでは、まず、GP 総合診療医にかかり、それから専門医を紹介されます。



Gold Coast Private Hospital

近年オープンした、最新式の機器を備えた私立病院。



病院で働く日本人看護師のセミナー

私立と公立の違い、日本とオーストラリアの医療の違いをわかりやすく説明してくれます



現地で活躍する看護師さんとの交流会



海外看護研修を通して私が得たもの

看護学部看護学科2年

- ・現地研修期間：2025年3月17日～3月26日
- ・研修受入大学：オーストラリア ゴールドコースト グリフィス大学

1. 海外看護研修を通して私が得たもの

海外看護研修に参加したことで、私は多くの貴重な学びと経験を得ることができた。

私が特に印象的だったのは、オーストラリアで働く日本人看護師の話聞いたことである。今回の研修の中には、実際にオーストラリアで働いている日本人看護師の方の講義や、数名の日本人看護師・看護学生との交流をする機会があった。どのような経緯からオーストラリアで看護師として働くようになったのか、今までどのような試練があったのかなど話を聞くことができ、良い学びとなった。その中にはオーストラリアの大学に通い、そのままオーストラリアの病院で働き始めた方や、始めは日本で看護師として一定のキャリアを積んだ後にオーストラリアに渡り、新たにキャリアをスタートさせた方など、いろいろな面からの話を聞いた。この方たちから、外国語で専門領域を学ぶことがどれほど大変なものか、現地での仕事に順応するためにどれほどの努力が必要なのかなど、今に至るまでの努力や苦勞の話をたくさん聞くことができた。オーストラリアで働きたいと思い、実際にそれを成し遂げた努力や行動力にとっても感銘を受けた。

また今回の研修では、オーストラリアの看護学部の演習室や病院見学をすることができた。実際に学生が使用している機材や設備は非常に整っており、シミュレーションを活用した学習が進んでいる様子が伺えた。また患者のモデル人形が様々な肌や髪色であり、多民族国家ならではの部分が見えて面白かった。オーストラリアの看護学生は病院実習の際、看護学生を中心として患者のアセスメントを行い、実際に患者に注射や医療行為をするという。日本でもアセスメントや援助を行うため似ている点もあるが、実際に注射や医療行為は行えないのでとても驚いた。

今回の病院見学では、私立病院を見学することができた。まず、オーストラリアには公立病院と私立病院があり、公立病院は治療費や入院費が無料である分、治療を受けられる待ち時間が月単位や年単位でとても長い。私立病院はお金がかかるが早く治療を受けられると学んだ。

私立病院はとても設備が充実しており、患者が高いQOLを保つことができる空間を理念として挙げていた。驚いた点として、ほぼ全ても病室が個室だったことである。これは公立、私立のどちらともであり、オーストラリアの病院はほぼ個室の病室だという。これはオーストラリアの医療目標として、患者のQOLを高めることを挙げており、その影響で個室が中心の病室なのかなと考えた。また、日本では医療従事者はマスクをすることが当たり前だが、オーストラリアでは誰一人マスクをしていなかった。マスクはしたい人がする、個人の自由という認識らしく感染対策の認識や方法の違いにとっても驚いた。

私はこの研修を通じて、文化の違いを感じたたくさんの刺激や学びを受けることができた。この研修は今後の自分の成長に大いに役立つと考える。海外での医療現場を直接見学することで、視野が広がり、異なる文化や価値観を理解する重要性を再認識した。今後はこれらの学びを忘れずに、これからの自分の将来に活かしていきたい。

2. 感想

とても短い期間だったが、とてもためになり充実した看護研修を行えた。最初はオーストラリアでの生活や、ホストファミリーとうまくコミュニケーションが取れるか、友達ができるかなど、とても不安だった。しかし研修が始まってみると、自然とみんなと仲良くなれて、最初の緊張感もすぐに消えた。

現地の大学に通っている台湾人の看護学生やマレーシア人の医学生とも仲良くなって、放課後みんなでテニスをしたり、休みの日に遊びに出かけたりした。お互いの文化を紹介やお互いの言語を教えたりなどした。言葉の壁があり、うまく伝えられないことがあったが、みんなで助け合いながら楽しい時間を過ごすことができた。

この研修を通じて、看護だけでなく、文化交流や新しい友達との出会いもあり、とても充実した時間を過ごせて本当に良かった。

3. 写真



海外看護研修を通して私が得たもの

看護学部看護学科 1 年

- ・ 現地研修期間：2025 年 3 月 17 日～3 月 26 日
- ・ 研修先：Griffith University Gold Coast Campus, Logan Campus, Gold Coast Private Hospital, Walk In Specialist Emergency Clinic

(1)海外看護研修を通して私が得たもの

私が海外看護研修を通して得たものは主に 3 つある。

1 つ目は、言語や文化の異なる人とのコミュニケーション能力である。私は、10 日間研修期間中にホストファミリーだけではなく、様々な人々とコミュニケーションを取った。オーストラリアでは、人の行動や言動を察するという文化が存在しないため、積極的に会話することが需要だと現地の人から教授された。しかし、研修の序盤は、語学力の不足もあり、自分の考えていることを表現できなかった。そのため、ホストファミリーと意思疎通は最小限であり、十分に図ることができなかった。しかし、ホストファミリーと沢山会話をし、密にコミュニケーションを取るために、どのような工夫をする必要があるか考えた。私は、語学力の不足を補うために、ジェスチャーを用いたり、表情や声の高低や強弱、リズムを考えたりしながら、ホストファミリーが理解しやすいように自分の考えていることを伝えた。すると、円滑にコミュニケーションを取ることができ、1 日の研修内容、自分の思考や感情を共有し、意思疎通ができた。したがって、私は、語学力の重要性だけではなく、非言語的コミュニケーションの重要性に気付き、積極的に行動に移し、コミュニケーション能力を高めることができたと考える。

2 つ目は、患者に適切な看護を提供するための工夫に関する学びである。私は、2025 年 3 月 24 日、Gold Coast Private Hospital に視察に行った際に、病室にあるケアボードについての説明を受けた。ケアボードとは、患者がどのくらい食事を摂取しているか、他の看護師が患者の療養上の世話をする際、その患者はどのような援助が必要なのか等が分かる病室の壁に付いているボードである。私は、このようなケアボードがあれば、患者に安全かつ正確な看護を常時提供でき、看護におけるインシデントやアクシデントを未然に防止することができると思った。また、ケアボードには、他にも患者の退院予定日や今日の目標も記入するスペースがある。退院予定日や今日の目標を可視化することで患者の疾病の治療に対する意欲の向上に繋がると考えた。なぜなら、退院予定日を可視化したり、今日の目標を達成したりすることが出来れば、患者自身が疾病の治療を頑張ろうというポジティブな気持ちになることができると考えたからだ。私が基礎看護学実習Ⅱで受け持たせていただいた患者は、早く退院したいという思いを強く感じていらっしやった。日本にも Gold Coast Private Hospital にあるようなケアボードがあれば、患者自身が患者の疾病の治療に対する意欲を向上させることができるのではないかと考えた。

3 つ目は、積極性と行動力である。研修中、現地で働く看護師の方々の体験談やアドバ

イスを教授していただく機会があった。その中で、私が印象に残っているのは、Gold Coast University Hospital で看護師として働く看護師 A さんがおっしゃっていた、「分からないことは、自分の中に留めずに、質問することが大事」という言葉である。私は、研修前、自分の考えていることを自分の中に留めておくことが多かった。しかし、A さんの言葉を聞いて、分からないことや疑問に感じたことは、言葉にしようと心掛け、研修中、少しでも疑問に感じたことは、積極的に質問した。質問をすることで、自分の理解不十分であった部分が明確になった。このように、積極的に質問し、自分の不明な点を明確させる力は、将来患者に適切な看護を提供することができる看護師になるために、とても重要であると考えた。

(2)感想

今回のオーストラリア看護海外研修に参加し、沢山の貴重な経験をすることができた。研修に参加する前は、まだ 1 年次で基礎的な看護学しか学修していない状態で、海外の看護状況を学ぶのは早すぎると考えていた。そのため、日本で専門的な看護学を学修してから海外の看護状況を学ぶべきだったのではないかと考えていた。しかし、研修を終えて、1 年次の時点で海外看護研修に参加することができて良かったと考える。なぜなら、専門的な看護の知識と十分な語学力を習得することの重要性に気づくことができたからだ。オーストラリアは、多文化、多言語社会であり、通学時に様々な人種の人々を目にした。ジェトロ（2024 年 3 月 19 日）によると、本社および国内工場において、常時雇用従業員として外国人材を雇用している企業は全体の 51.4% となったと述べられている。よって、日本にも今後海外からの移住者が増加していくと考えられる。ゆえに、様々なバックグラウンドを持つ患者に適切な看護を提供できるよう、2 年次からの専門的な看護学の学修に力を入れることに加えて、語学の学修にも力を入れて頑張りたいと考えた。

【引用文献】

・ジェトロ/ジェトロ/ジェトロ(2024 年 3 月 19 日)「総論：拡大する外国人材雇用、その背景と今後の期待とは」『高度外国人材と創出する日本企業のイノベーティブな未来』
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0304/ff05b429d4442176.html> （閲覧日：2025 年 3 月 29 日）

(3) 写真



セミナー

CALL DON'T FALL

Patient Care Board Gold Coast HEALTH HOSPITAL My Healthscope

Patient Name: _____ Room No.: _____

Ward: _____ Day: ☐ M ☐ T ☐ W ☐ T ☐ F ☐ S ☐ S

Date: _____ Allergies: Yes / No

Doctor: _____

Nurse: _____

My Goals for Today: _____ Diet & Fluids: _____

What Matters To Me: ☐ NIL BY MOUTH

1. _____ Mobility: ☐ Independent ☐ Supervision ☐ Assistance 1 _____

2. _____

3. _____

I need help with: ☐ ADL ☐ IADL ☐ Mobility ☐ E ☐ Other ☐ Aids Required

My Daily Plan: _____ My Questions: _____

Planned Discharge Date: _____

Discharge Time to Home: _____

Worried Or Concerned?

Patient, Family and Carer Satisfaction
Are you worried or concerned about you or your family member's condition?

1. Talk to a Nurse or Doctor regarding your concerns.
2. Ask to talk to the Nurse in charge of the shift or the Nurse Unit Manager.
3. Phone 0800 to contact your concerns to the Hospital Nursing Coordinator.

Community of Care

ケアボード

海外看護研修を通して得たもの

看護学部看護学科1年

現地研修期間：2025年3月17日～3月26日

研修受入大学：オーストラリア・クイーンズランド州 ゴールドコースト グリフィス大学
視察先：Gold coast Private Hospital、Wise Specialist Emergency Clinic-Gold Coast

1. 海外看護研修を通して私が得たもの

私が海外看護研修を通して得たものは3つある。

1つ目は、英語力を伸ばしたいと強く感じられたことだ。ホストファミリーとの会話、公共交通機関の利用、スーパーでの会計など、オーストラリアで日常生活を送るために英語は欠かせないものだった。英語は私の好きな科目の1つであったが得意ではなかった。特に、リスニングとスピーキングを苦手としていた。ホストファミリーとの会話で、私がきちんと内容を理解できたのは3割～4割くらいだと感じる。聞いたことのある単語だけれど意味を思い出せない、そもそも何を言っているのか聞き取ることができないなど、自分の英語力の低さを実感した。しかしそのような状況の中でも、聞きとれた単語の意味を調べてみたり、ホストファミリーに分からない単語を聞き返してみたり、翻訳機を使ってみたりとその時の自分にできることを行った。そして非言語コミュニケーションは特に重要だと実感した。英語が分からなくても、相手の表情や身振り手振り、視線、声のトーンなどから、相手が何を言おうとしているのか何となくだが汲み取ることができた。相手の話している内容が理解できるととても楽しいし、その内容に対して自分が答えることが出来ると相手も喜んでくれた。もっと相手の話していることを理解し沢山話すことが出来たらと何度も感じた。

2つ目は、海外で働く日本人ナースと繋がりをもつことができたことだ。私は将来看護師・助産師として国際保健に携わりたいと考えている。そのため今回の研修を通して、海外で働く日本人看護師と繋がりを持てたことは私にとって大きな収穫となった。実際にどのような過程を踏み海外で働く看護師になったのか、今日本で看護を学んでいる私は今後どのような過程を踏めば国際看護に携わることができるのかなど、貴重な話を伺うことができた。今回の研修を通して将来の夢へのイメージを膨らませると共に実現性を高めることができた。また、他県に住む看護を学ぶ学生や、オーストラリアで看護を学ぶ日本人学生と知り合うことができ、自分のこれからの学修への良い刺激となった。

3つ目は、自信を持つことができるようになったことだ。登校初日、片道1時間の道のりを一人でバスとトラムに乗り、学校まで辿り着いた。日本とは異なりバスは手を挙げないと止まってくれない。私は手を挙げ忘れバスを1本逃してしまった。また、車内には次のバス停などを表示する画面やアナウンスも無く戸惑った。分からないことが多かったため、バス停に座っていた男の子にバスの乗降の方法を尋ねたり、トラムでは同じ号車に乗った人に、「自分の乗車したトラムは自分が目指している目的地の方向に合っているのか」地図を見せながら英語で質問したりした。そのため間違えずに学校まで辿り着くことができた。この経験から、慣れない環境・慣れない言語だとしても、自分はやり遂げることできるのだと実

海外看護研修を通して得たもの

感で自信に繋がった。

2, 感想

ホームステイ中ホストファミリーは、私が分かりやすいように易しい英語を用いてコミュニケーションをとってくれた。カードゲームをしたり、オーストラリアの料理やお菓子を一緒に作ったり、フリータイムや放課後にはお出かけしたりした。とても優しく、暖かく、家族の一員のように私を迎え入れて下さったため、本当に楽しい時間を過ごすことができた。料理に対しての感想が、delicious, tasty, good, sweet などの表現しか分からず、もっと英語で味や食感、匂いなどの言い方を知っていたらと感じた。今度ホストファミリーと会う際には、今回以上に沢山話せるように、これからの学修では、英語に力を入れようと決心した。病院視察、セミナーを通してオーストラリアの医療システム、医療提供、医療の質、医療の課題点など医療事情について学んだ。先住民アボリジニを含む他民族国家での看護についても学んだ。まだ看護について十分に理解してない1年生が、看護研修に参加するのは早いのではないかという意見もあったが、私は1年生の段階でこの研修に参加できて本当に良かったと思った。これまで以上に、看護についての関心が湧き、勉強したいという気持ちを高めることができた。

3, 写真



ローガンキャンパスナーシングラボ



ホストファミリーとの夕食



Wise Specialist Emergency Clinic
-Gold Coast



トラム